

# 将来ビジョンの骨子（案）について

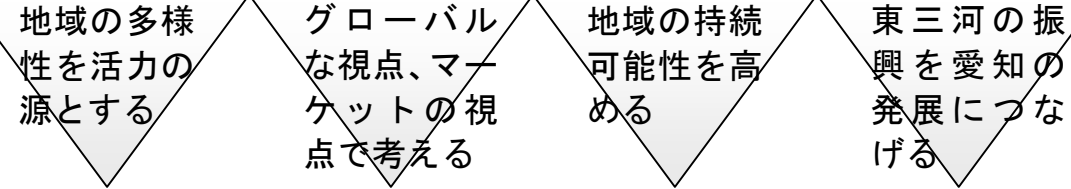
## <現行施策の方向性>

## <将来ビジョンの骨子（案）>

### 【策定趣旨】

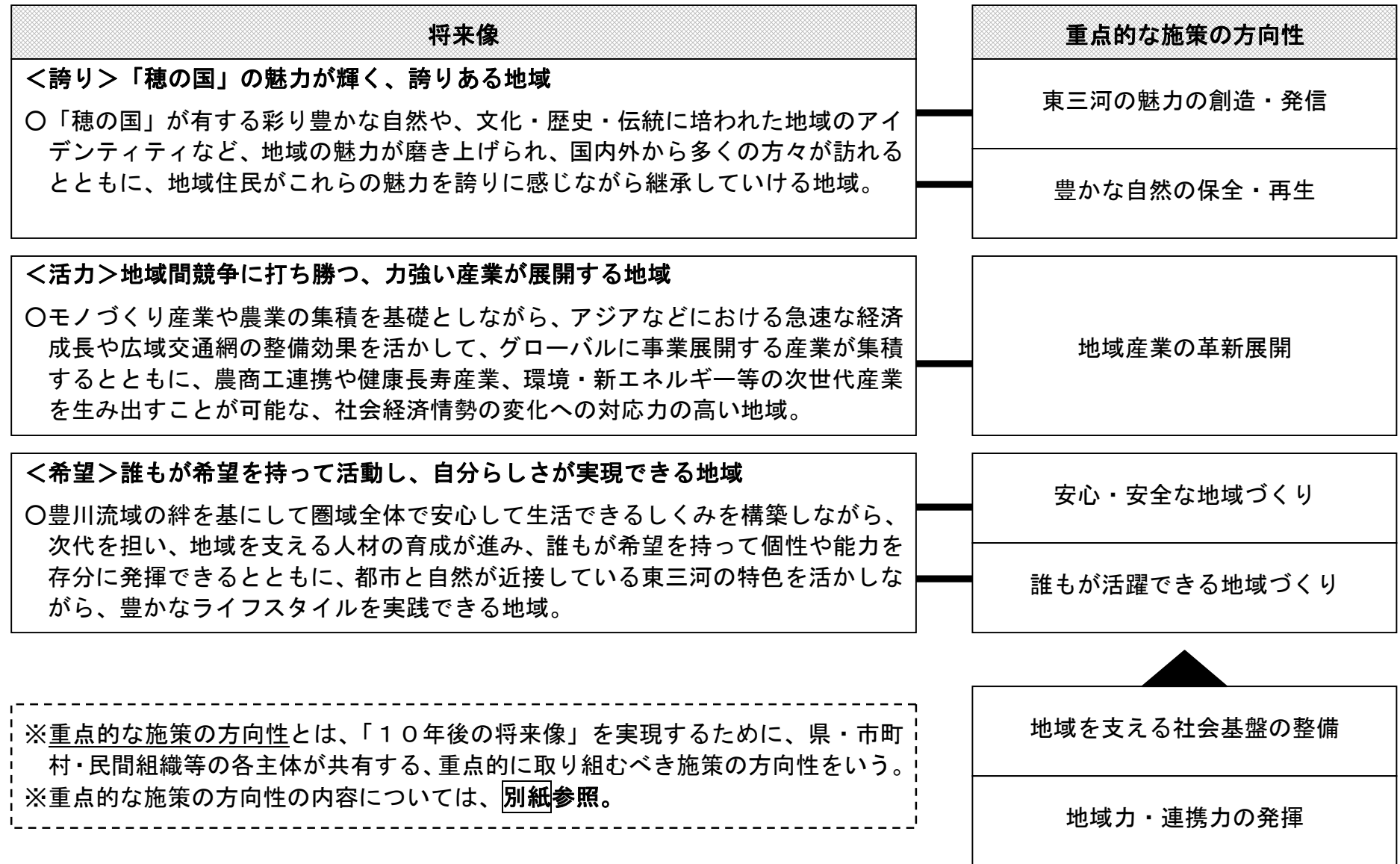
東三河地域の持つ地域特性を活かし、重点的に取り組むべき施策の方向性を示しながら、10年後の東三河の目指すべき姿（将来像）を明らかにする  
 <策定主体>東三河ビジョン協議会 <目標年次>平成35(2023)年 <対象地域>東三河8市町村

### 【検討の視点】



### 【10年後の将来像及び重点的な施策の方向性】

東三河地域が、穂の国文化を確かに継承し、未来へと発展させ、自立力の高い、定住できる地域、交流が盛んな地域となることを基本目標に、10年後の将来像として、次の3つを掲げます。  
 ※基本目標を表すキャッチフレーズを今後検討



## 1 地元市町村の計画における東三河地域の方向性

### ■東三河8市町村の総合計画（基本構想）

市町村	まちづくりの目標（将来像）	計画期間
豊橋市	輝き支えあう水と緑のまち・豊橋	H23~32
豊川市	光と緑に映え、ゆたかで、住みよい、夢のあるまち	H18~27
蒲郡市	三河湾に輝く 人と自然が共生するまち 蒲郡	H23~32
新城市	市民がつなぐ 山の湊 創造都市	H20~30
田原市	うるおいと活力のあるガーデンシティ	H19~42
設楽町	森と水のちからと人の営みが調和するくらしと出会いのまち	H19~28
東栄町	キラリと輝く 自立を育む 交流創造の郷	H18~27
豊根村	水と緑と心のふるさと とよね	H20~29

### ■東三河地方拠点都市地域基本計画

対象地域	計画の基本目標	計画期間
東三河8市町村	21世紀のライフスタイルをリードする生活の都	H18~27

## 2 県「政策指針 2010-2015」における東三河地域の地域づくりの方向性の位置づけ

### ■東三河エリア（東三河8市町村）

域内外との交流拡大により、農・商・工、観光、国際物流など多様な産業力を総合的に高め、流域圏が一体となって自立力と連携力を持った都市圏をめざす

### ■三河山間エリア（新城市・設楽町・東栄町・豊根村、岡崎市及び豊田市の一部）

生活基盤の確保と社会基盤の整備促進を図るとともに、豊かな自然や伝統文化を生かした新たな価値やライフスタイルを創造・発信することにより、人が集い暮らす持続可能な交流生活圏をめざす

## 3 県「あいち山村振興ビジョン」における将来像～緑が生きる豊かな山の暮らしの構築～

- ①安心して暮らし続けられる地域
- ②愛知の産業活動の一翼を担う地域
- ③個性豊かな魅力が誇れる地域
- ④愛知の環境を支える地域

## 4 「三遠南信地域連携ビジョン」における位置づけ

■テーマ：三遠南信 250 万流域都市圏の創造—世界につながる日本の中央回廊—

- ◆目指すべき地域像：①日本の中央回廊の形成
- ②大伊勢湾環状地域を構成する中核的都市圏の形成
- ③流域循環圏の形成
- ◆基本方針：①中部圏の中核となる地域基盤の形成
- ②持続発展的な産業集積の形成
- ③塩の道エコミュージアムの形成
- ④中山間地域を活かす流域モデルの形成
- ⑤広域連携による安全・安心な地域の形成

など

地域が一体となって、東三河振興に取り組む

# 将来ビジョンの骨子（案） 「10年後の将来像」及び「重点的な施策の方向性」について

○東三河地域が、穂の国文化を確かに継承し、未来へと発展させ、自立力の高い、定住できる地域、交流が盛んな地域となることを基本目標に、10年後の将来像として、次の3つを掲げます。

将来像	重点的な施策の方向性	
<p><b>&lt;誇り&gt;「穂の国」の魅力が輝く、誇りある地域</b></p> <p>○「穂の国」が有する彩り豊かな自然や、文化・歴史・伝統に培われた地域のアイデンティティなど、地域の魅力が磨き上げられ、国内外から多くの方々が訪れるとともに、地域住民がこれらの魅力を誇りに感じながら継承している地域。</p>	<p><b>東三河の魅力の創造・発信</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○広域観光エリアとしての魅力の向上・発信</li> <li>○奥三河の交流居住の促進</li> <li>○県境を越えた交流の促進</li> <li>○伝統文化の継承・発信 など</li> </ul>
	<p><b>豊かな自然の保全・再生</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生物多様性の保全</li> <li>○自然とふれあう場の活用と充実</li> <li>○三河湾の再生 など</li> </ul>
<p><b>&lt;活力&gt;地域間競争に打ち勝つ、力強い産業が展開する地域</b></p> <p>○モノづくり産業や農業の集積を基礎としながら、アジアなどにおける急速な経済成長や広域交通網の整備効果を活かして、グローバルに事業展開する産業が集積するとともに、農商工連携や健康長寿産業、環境・新エネルギー等の次世代産業を生み出すことが可能な、社会経済情勢の変化への対応力の高い地域。</p>	<p><b>地域産業の革新展開</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康長寿産業、環境・新エネルギー等の次世代産業の育成・振興</li> <li>○産業間連携の促進</li> <li>○戦略的な産業立地の推進</li> <li>○世界を視野に入れた産業を支える人材の育成・確保と起業支援</li> <li>○日本の先駆的モデルとして継続・発展する農業の振興</li> <li>○林業・水産業の振興</li> <li>○鳥獣害対策の推進 など</li> </ul>
<p><b>&lt;希望&gt;誰もが希望を持って活動し、自分らしさが実現できる地域</b></p> <p>○豊川流域の絆を基にして圏域全体で安心して生活できるしくみを構築しながら、次代を担い、地域を支える人材の育成が進み、誰もが希望を持って個性や能力を存分に発揮できるとともに、都市と自然が近接している東三河の特色を活かしながら、豊かなライフスタイルを実践できる地域。</p>	<p><b>安心・安全な地域づくり</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○防災・減災対策の推進</li> <li>○地域医療の充実</li> <li>○介護サービスの充実</li> <li>○奥三河の生活基盤の確保 など</li> </ul>
	<p><b>誰もが活躍できる地域づくり</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子育て環境の充実</li> <li>○地域に根ざした教育環境づくり</li> <li>○雇用につながる人材育成の推進</li> <li>○女性・高齢者の能力活用と社会参加の促進</li> <li>○地域活動やNPOの担い手の育成・確保</li> <li>○多文化共生社会づくり など</li> </ul>
	<p><b>地域を支える社会基盤の整備</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○交通基盤の整備・強化</li> <li>○公共交通の確保</li> <li>○世界と直結する三河港の機能強化</li> <li>○森林の保全と水資源の安定的確保</li> <li>○再生可能エネルギーの導入拡大 など</li> </ul>
	<p><b>地域力・連携力の発揮</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○三遠南信連携の推進</li> <li>○地域内連携の強化</li> <li>○豊川流域圏づくり など</li> </ul>

## 主要プロジェクト推進プランの骨子（案）及び先導事業候補について

## 【策定方針】

- 将来ビジョンに掲げる重点的な施策の方向性（「広域観光エリアとしての魅力の向上・発信」）を踏まえ、戦略的に取り組むべきテーマを「広域観光の推進」として設定し、3年間（25年度～27年度）の実施計画を策定する。
- また、推進プランの策定と並行して、「広域観光の推進」を牽引する取り組みを先導事業として、24年度に実施する。
- 県、市町村、民間組織、広域連携組織、NPO等が、共通目標のもと連携・協働して展開する取り組みをプランに位置づける。

## 【現状と課題】

- 東三河は、温泉、テーマパーク、美しい景観や自然環境、豊富な食材、伝統芸能、宿場町、特色あるお祭りなど豊富な観光資源に恵まれているが、観光地としての知名度は高くない。
- 観光スタイルが、「見る観光」から「参加・体験型観光」「テーマ性を志向する観光」へ、「団体旅行型」から「個人旅行型」へと変化している中で、特色ある観光資源を活用した新たな旅行商品の造成やイベントなどのプロモーション活動の推進が必要である。
- ブロードバンドやスマートフォンの普及により、観光情報を求める媒体が変化しており、その変化への対応が必要である。
- 「あいちの山里で暮らそう 80日間チャレンジ」や「奥三河プロモーションボード」など、本年度着手した事業の成果を活かして、東三河のプロモーションを強化する必要がある。
- B-1全国グランプリは、数十万人の来訪者が予想される大規模イベントであり、受入体制が課題となっているものの、東三河全体のプロモーション強化の絶好の機会である。
- 中部運輸局が主導する昇龍道プロジェクトが動き出しているが、現状では、東三河の外国人宿泊客を地域での観光や買い物など地域経済の活性化へつなげられていない。
- 新東名高速道路や三遠南信自動車道の整備により、自動車を利用した観光客の増加が見込まれ、より広域的な取り組みが求められる。等

## 【主な取り組み】

## 1. 広域観光エリアとしての魅力の向上

## ①豊富な地域資源の磨き上げ

- 地域資源を活かした着地型観光商品の開発
- 農林水産業の6次産業化の推進
- 伝統芸能・アートによる地域づくりの推進 等

## ②各地域資源を連携・補完し、広域観光エリアとして周遊性を強化

- ご当地グルメ観光の推進
- 地域まるごと体験観光の推進
- ウォーキング、サイクリングなど健康志向を東三河全体で受けとめる仕掛けづくり《先導事業関連》
- 豊かな自然環境を活かしたエコツーリズムやグリーンツーリズムの推進
- 山城、史跡めぐりなど愛好家の視点を重視した取組の推進 等

## ③地域ブランドを構築し、広域観光エリアとしての一体感を醸成

- 特産品のブランド認証及び特産品のブランド力を観光へと誘導させる仕組みづくり 等

## 2. 広域観光エリアとしての魅力の発信

## ④地域一体となったプロモーションの展開

- 地域一体となった観光キャンペーンの展開
- ターゲットを絞ったマーケティングやモニターツアーの成果を活かした効果的なプロモーションの展開
- 効果的なメディア戦略の推進
- 特産品を通じた東三河の魅力発信
- 地域のネットワークを活かした情報発信力の強化
- ホームページ、SNS、スマートフォンのAR機能などICTを活用した情報発信力の強化《先導事業関連》
- 地域が連携し、新たな地域資源を発信する仕組みづくり
- ロケ誘致による東三河の魅力発信 等

## ⑤イベント・コンベンションの誘致強化

- B-1全国グランプリの来訪者を東三河で滞在・周遊させる仕組みづくり
- リピーターの確保に向けた仕組みづくり 等

## ⑥圏域を越えた広域連携の促進

- 県内他地域、伊勢志摩、遠州、南信州等隣接地域との連携促進 等

## ⑦海外からの誘客強化

- 中部広域観光推進協議会と連携した誘客 等

## 3. 広域観光を推進する人・環境・基盤づくり

## ⑧観光を支える人材の育成

- 観光先進地域と連携した研修を通じた人材の育成、ボランティアガイドの育成 等

## ⑨美しい景観づくりの推進

- 地域が主体となった景観づくりの推進 等

## ⑩広域観光を支える観光基盤・施設の整備推進

- 案内施設の充実強化、東三河南北軸等ネットワークの強化、二次交通の充実強化、海上輸送の確保 等

【3 年実施計画】 例示イメージ

取組の体系		取組主体	実施年度		
			25 年度	26 年度	27 年度
1 広域観光エリアとしての魅力の向上	① 豊富な地域資源の磨き上げ 地域資源を活かした着地型観光商品の開発	県	地域資源を活かした新たな旅行商品等の開発支援	→	
		市町村			
		観光協会等			
	②				

【平成 24 年度先導事業候補】

事業名：東三河魅力満載めぐり事業

○事業目的

ウォーキング、サイクリングなどの健康志向の高まりを活かして、東三河の魅力（自然、文化、歴史、食など）を満載したコースを設定し、東三河を周遊し継続した来訪を促す仕組みをつくる。

○事業概要

- ・民間事業者等が行うウォーキングイベント等と連携して、東三河の魅力（自然、文化、歴史、食など）を満載したウォーキングやサイクリング等のコースを設定
- ・フェイスブック等の SNS（※1）やパンフレット等で一体的に PR
- ・スマートフォンの AR（※2）機能など ICT（情報通信技術）を活用して、史跡・施設等の解説や近隣の特産品案内等の便利な情報を発信

※1 SNS（Social Networking Service）

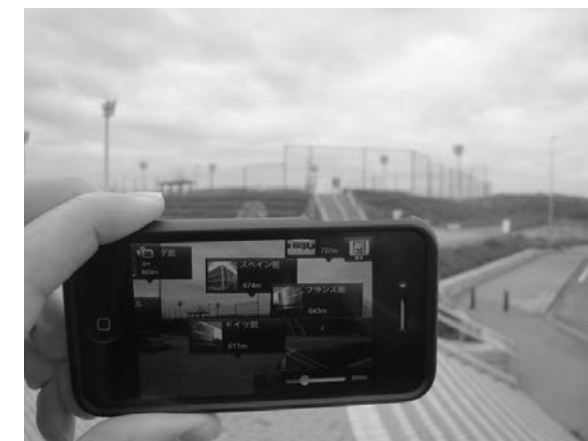
人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型の Web サイト

※2 AR（Augmented Reality）

- ・ARとはスマートフォンなどを利用し、現実風景に情報を重ねて表示する技術（拡張現実）のこと。
- ・スマートフォンの GPS 機能で緯度経度を把握して情報（エアタグ等）を重ねるタイプや、画像認識技術を使って情報（3D・動画等）を重ねるタイプなどがある。

活用例：愛・地球博記念公園「万博アルバム」

名古屋市栄「あいちの野鳥観察広場」



## 東三河振興ビジョンへの住民意見の反映方策(案)

### 1. 目的

東三河振興ビジョンへの関心喚起と住民意見の反映を目的として、NPO、民間企業、有識者等へのヒアリング及び若者を中心とした意見交換会等を実施するとともに、東三河県庁のポータルサイト「穂っとネット東三河」と連携した情報発信を行う。

### 2. 事業内容

#### ①NPO、民間企業、有識者等へのヒアリングの実施

東三河を始め地域内外で地域振興や地域課題の解決に取り組むNPO、民間企業、有識者等を対象として、東三河の目指すべき姿などに関してヒアリングを実施。

#### ②若者を中心とした意見交換会等の開催

次代を担い、支える若者を中心として、人々の思い描く東三河の将来像や地域づくりに対する意見を聞くための意見交換会等を開催。

##### ・大学生等を対象とした意見交換会（2回、10月と12月頃開催予定）

東三河地域の大学等で学ぶ学生を対象に実施。

##### ・高校生を対象とした意見交換会（2回、10月と12月頃開催予定）

東三河地域の地理的特性等を踏まえて高校生を募集して実施。

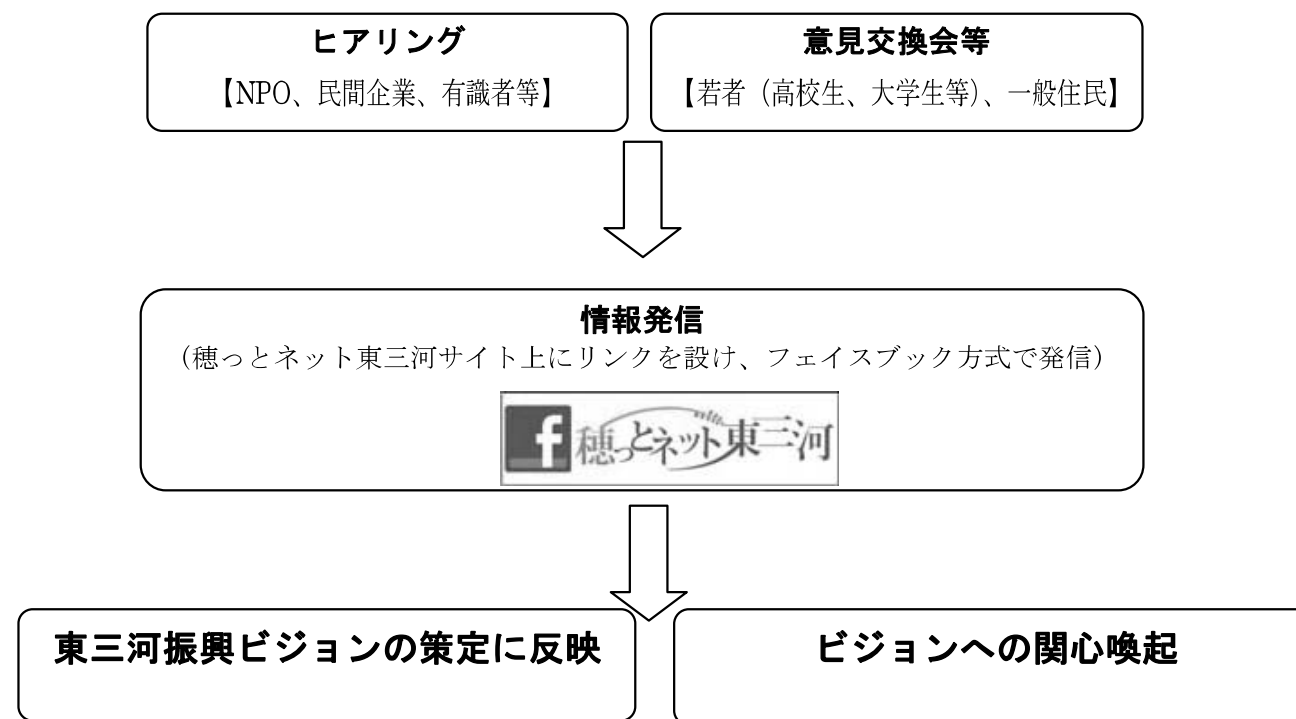
##### ・一般住民を対象に意見交換会（随時募集）

市町村で実施している出前講座等の機会を活用して実施（ビジョン策定の進め方、進捗状況の説明。ビジョンに反映すべき意見等の収集）

#### ③情報発信

①②で得た情報及びビジョン策定過程の情報について、東三河県庁のポータルサイト「穂っとネット東三河」と連携したフェイスブック方式により情報発信を行う。

#### ●フロー図



#### ●スケジュール

内容	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ヒアリング、情報発信							→	
意見交換会(若者)、情報発信			☆開催時期		☆開催時期		→	
市町村連携出前講座、情報発信	随時開催						→	
【参考】 協議会開催スケジュール				● 協議会③	パブリック コメント		● 協議会④	